

平成 23 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社デ・ウェスタン・セラピテクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号：4576)
問合せ先 経営企画室長 今井 清子
T E L 052-218-8785

緑内障治療剤「K-115」の国内第Ⅲ相臨床試験（併用試験）に関するお知らせ

当社が創製した Rho キナーゼ阻害剤である緑内障治療剤「K-115」は、現在ライセンスアウト先の興和株式会社により国内第Ⅲ相臨床試験（単剤及び長期試験）が行われております。K-115 は既存の緑内障治療剤とは異なり、新規作用メカニズムを有していることから、既存の治療剤に併用することで、更なる眼圧下降効果が期待できます。

本日、興和株式会社が併用試験の実施に向け、財団法人日本医薬情報センターが運営する臨床試験情報を公開するためのウェブサイト「臨床試験情報」(<http://www.clinicaltrials.jp>)を通じて、国内第Ⅲ相臨床試験（併用試験）情報を追加し、公表したことをお知らせいたします。

興和株式会社により、本公表内容に則って第Ⅲ相臨床試験（併用試験）が開始されます。

本日公表された第Ⅲ相臨床試験（併用試験）は、現在緑内障治療に一般的に使用されている既存の治療剤（ラタノプロスト（PG 関連薬）及びチモロール（ β 遮断剤））と K-115 とを併用した場合の有効性及び安全性について、プラセボを対照に検証する併用試験です。

国内の緑内障治療剤市場のおよそ 5 割はラタノプロスト及びチモロールで占められていることから^(注1)、これら既存の治療剤との併用効果が確認されることにより、K-115 は緑内障治療剤として有用性及び市場性が一層高まるものと期待されます。

本併用試験開始後も、K-115 の開発スケジュールに変更はありません。

なお、本件の当期業績に与える影響は軽微であり、平成 23 年 2 月 10 日に公表いたしました平成 23 年 12 月期の業績予想およびマイルストーン開示に係る事業計画への変更はありません。

以上

K-115 について

K-115 はプロテインキナーゼ^(注2) の一種である Rho キナーゼ^(注3) を選択的に阻害する当社が創製した化合物です。眼圧下降作用のほか、緑内障によって障害を受ける網膜神経細胞に対する保護作用も有することが確認されております。Rho キナーゼ阻害作用を有する K-115 はこれまでの緑内障治療剤とは異なり、房水の主流出経路に作用し眼圧下降させる新規作用メカニズムを特徴とする薬剤であることから、K-115 単独の使用に加え、他の緑内障治療剤との併用効果が期待されております。

用語解説及び注記

(注1)

Copyright 2011 IMS Health. All rights reserved. Estimated based on MIDAS data (Rx) 2008 Dec MAT Reprinted with permission.

(注2) プロテインキナーゼ

ATP(アデノシン三リン酸と言われ、体内で作られる高エネルギー物質)等の生体のエネルギーの元となる低分子物質等のタンパク質分子にリン酸基を付加する(リン酸化)酵素です。タンパク質をリン酸化するキナーゼをプロテインキナーゼと呼び、タンパク質以外のものをリン酸化するものをキナーゼと言います。

(注3) Rho キナーゼ

タンパク質リン酸化酵素であるプロテインキナーゼと呼ばれる酵素群の1つで、細胞が生きていくために必要な細胞内情報伝達を担っている重要な酵素タンパク質です。